

薬師三尊懸仏

やくしさんぞんかけほとけ

市指定

所在地：宮ノ前



薬師如来



月光菩薩

波々伯部神社に残された懸仏で、薬師如来、月光菩薩、日光菩薩の三体がある。

薬師如来懸仏は鏡板の中心に薬師如来坐像を彫出し、左右に花瓶を付け、上部に天蓋を付けている（欠失）。裏面に「永正十四年（1517）丙丑二月吉日」の紀年銘が願文とともに墨書されている。

月光、日光菩薩は鏡板の上から銅板を張り像を打ち出し、花瓶、天蓋などの装飾を施している。月光菩薩には「応永三十四年（1427）六月十二日」の紀年銘が残る。

年代、願主のわかる懸仏として、史的価値が高い。